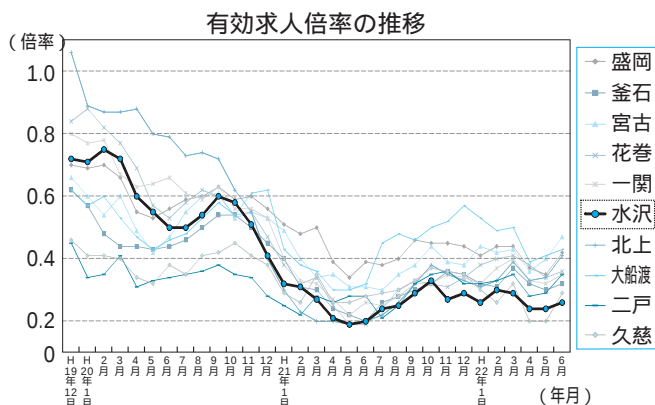


ここが聞きたい 一般質問

市長 新規高卒者について3月末に100%になるか懸念され、各方面に高卒者の雇用拡大を要請しています。必ず就職できるよう手だてをとり力を尽くしてまいります。リストラ解雇については、雇



に別枠で市職員採用を行い、企業への採用支援も実施しています。昨年末以上の諸対策をとり、新規高卒者については、最後の1人まで就職できるように対応すべきだと思っています。リストラ解雇の状況も深刻で、元の雇用主の責任で、再就職できるようにすることを最後まで求めるべきだと考えます。その対応について伺います。

質問 日高火防祭と協賛出演している厄年連における運営上の課題



すがわら よしかず
菅原 由和

○日高火防祭と厄年連への支援について
○祭りの充実による地域活性化について
○スマートインターチェンジの設置について

市長 根本的に体力がない状況で、地元企業を守ることにどういう支援ができるのかしっかりと検討し考えてまいります。減免制度については、ハードルが高いのか、しっかりと検討していかなければならないと考えます。

質問 水沢職業安定所管内の有効求人倍率は昨年6月以来県内最下位です。本来経済力があるのに、企業誘致に頼りすぎではないか、産業振興上の課題として分析し、中小企業振興条例を制定する等、対策をとるべきと思いますが、その考えがないか伺います。

また、市税の減免制度がつくられていますが、このような時期に活用されないのでは、ないに等しいと考えますが見解を伺います。

市長 日高火防祭においては、一部町組から屋台の押し手や搭乗者が不足との声があります。今後、各町組との話し合いの場を設け、前向きに将来に展望が開けるよう、解決に向けた取り組みをしてまいります。

厄年連においては、協賛金が減少傾向にありますが、予算の範囲内で創意工夫しながら出演しているところです。自主性を尊重しながらも、厄年連は奥州市の伝統文化として、今後も衰えることなくできるよう、市も側面的な支援をしてまいります。



日高火防祭

とその対応策について伺います。

質問 各地区の祭りを奥州市活性化のために、今後どのように発展させていくのか伺います。

市長 どの祭りも地域振興や活性化をはかる上では、なくてはならない祭りです。奥州市の観光資源と位置づけ、ホームページ等による情報発信や旅行商品への組み入れ等を積極的に推進し、観光客の誘客に努めてまいります。

質問 スマートインターチェンジの設置に対する考え方と、市における現在までの取り組み状況、今後の方向性について伺います。

市長 都市機能の充実と地域固有の経済活動、さらには、災害や救急医療の輸送路としてきめ細やかにアクセスするために、低コストで設置できるスマートインターチェンジは必要であると考えております。現在、基本構想の作成を進めており、その調査が9月で終了しております。今後、内容を精査し、年内に一定の結論を出した上で、関係機関と協議をしながら進めてまいります。

